

遠隔操縦を、 現場の技術から社会の入口へ

e建機チャレンジ2025から2026への展開

発表者：WG07リーダー 植村建設株式会社 山本 雅

超遠隔操作による無人化施工の普及と 一般土木工事への活用に向けた連携



e建機チャレンジが必要とされる背景



建設現場のDX化

- ✓ i-Constructionの推進
ICT・デジタル技術の活用で生産性向上
- ✓ i-Construction 2.0
データ連携・自動化で建設現場を革新
- ✓ 遠隔・自動・半自動技術の実装
安全性向上と効率化を実現



深刻な人材不足

- ✓ 就業者数の減少
建設業就業者は減少傾向が継続
- ✓ 高齢化の進行
55歳以上が約36%、若年層は約12%
- ✓ 技能継承の課題
若年入職が進まず、技能継承が困難に



潜在的就労者の掘り起こし

- ✓ 学生
- ✓ eSports Player
- ✓ 女性
- ✓ 障がい者



遠隔操作により、時間や場所の制約を越えて
新たな就労の機会を創出

遠隔操作は、現場DX・人材確保・新しい働き方をつなぐ技術

e建機チャレンジの目的

目的 1



建設機械の遠隔操作技術の
社会実装を促進

目的 2



建設業界の
新しい人材の創出
(建設業界の
人材不足解消)

目的 3



災害救助・復旧支援
による社会貢献



技術・人材・社会貢献を同時に前進させる



WG07 参加メンバー（順不同）

事業者会員 7社

- 植村建設株式会社（リーダー）
- 株式会社大林組
- 東珠株式会社
- 野原グループ株式会社
- 丸磯建設株式会社
- 旭建設株式会社
- 佐藤運輸倉庫株式会社

関係団体

- KONAMI eスポーツ学院（eUNITED高等部）
- 特定非営利活動法人 国際教育eスポーツ連盟
ネットワーク日本本部（NASEF JAPAN）
- 一般社団法人災害対策支援者協会
- 千葉房総技能センター

サポート会員 16社

- | | |
|--------------------|------------------------|
| ● ARAV株式会社（サブリーダー） | ● 株式会社コナミデジタルエンタテインメント |
| ● 伊藤忠商事株式会社（SV） | ● ソフトバンク株式会社 |
| ● アクティア株式会社 | ● 田中電気株式会社 |
| ● 株式会社EARTHBRAIN | ● 東海大学 |
| ● 株式会社eek | ● 株式会社パトライト |
| ● ウイングアーク1st株式会社 | ● 日立建機株式会社 |
| ● ヴォイニッチ株式会社 | ● 株式会社プラスループ |
| ● NSW株式会社 | ● LocationMind株式会社 |

大阪・関西万博 e建機チャレンジ2025

EXPO Hall『シャインハット』から約420km離れた千葉県の重機を遠隔操作して競技を実施

大阪

EXPO Hall
シャインハット



千葉県の
重機現場



シャインハット外観



シャインハット内部



メインステージ



競技の様子(千葉の重機を遠隔操作)



会場：大阪 EXPO Hall『シャインハット』



方式：遠隔操縦による競技



遠隔地：千葉県の建設機械



特徴：会場と現場をつなぐ超遠隔操作

2025の実施を踏まえた2026への展開

万博で示した可能性を、次は **普及・共創・入口づくり** へ



2025で示せたこと

- 超遠隔操作の実演
- 一般来場者への発信
- 技術の可能性を可視化



広がった手応え

- 業界内外の関心の高まり
- 学生・一般との接点
- 社会実装への期待感



2026でさらに進めること

- 業界向け・一般向けの設計
- 共創体制の拡大
- 全国予選による入口づくり



2025の実施を土台に、2026は **普及** と **社会実装** をさらに前進

e建機チャレンジ2026の全体像

初の2日間開催で、**業界と次世代をつなぐ。**

2日間開催で、それぞれの目的に合わせたプログラムを実施

Day1

官公庁・業界向け

技術と社会実装の議論を深める日



技術紹介・実演

遠隔操縦建機の実演・デモ



パネルディスカッション

社会実装に向けた議論



ネットワーキング

連携・共創の機会創出



Day2

一般・学生向け

見て、触れて、体験できる日



体験コンテンツ

遠隔操縦体験・シミュレーター



アプリで参加

「重機でGO!」全国予選



学生向け企画

仕事理解・キャリア案内



業界と次世代をつなぎ、遠隔操縦の可能性を広げる2日間

業界の最前線と、未来の担い手が出会い、共に未来の建設を創る機会にします。

—— イベント実施日 ——

2026年

10月2日 金

Day1

官公庁・業界向け

2026年

10月3日 土

Day2

一般・学生向け

※プログラムの詳細は今後発表します。



2025年の実施を土台に、2026年は**普及と社会実装**をさらに前進させます。



共創体制の拡大

企業単独ではなく、TDBCらしい共創の形へ



—— 建機メーカー、システム企業、施工者が同じ場に立つ ——

広報・認知拡大の取り組み

CSPI2026から全国予選へ。認知を段階的に広げる

CSPI2026 国際建設・測量展



出展企業様の
協力による
フライヤー配布



TDBC WG07として
情報発信



7月10日
開始

重機でGO 全国予選

本日より開始!



シミュレーターアプリを活用



全国から参加できる
入口づくり



全国の高校生が
どこからでも参加可能!



全国から
挑戦しよう!

あなたの挑戦が、未来の建設の力になる!

TDBC e建機チャレンジ2026

ゲスト出演決定!

ハリセンボン

SPECIAL
GUEST

箕輪はるかさん

特別ゲストとして出演が決定しました

建設×遠隔操作×未来の仕事を、もっと身近に。

※詳細は今後順次ご案内予定



関係機関・団体との連携

企画趣旨の共有と、社会的意義の発信



国土交通省様をはじめ、関係機関・団体と面談



普及



担い手



安全



災害対応

遠隔操縦を、一部の技術者だけでなく**社会全体**で活用できる技術へ

参加者の広がり

学生、eスポーツ選手、障害者支援団体へ。建設業の入口を広げる



学生



eスポーツ選手



障害者支援団体



一般参加者



遠隔操縦は、新しい人材が建設業と出会う入口になる



e建機チャレンジは、 遠隔操縦の社会実装に向けた共創プラットフォームへ

2025

体験する



遠隔操縦を体験し、
可能性を実感する

2026

つなげる



人・技術・データをつなぎ、
共創の輪を広げる

これから

実装する



社会・現場に実装し、
安全で生産性の高い未来をつくる

➤➤ TDBC内外の**共創**をさらに**拡大**



荷主が変わらなければ物流ではなく、経済が破綻する
～運送事業者と荷主とのパートナーシップで解決～



一般社団法人 運輸デジタルビジネス協議会

[**https://tdbc.or.jp/**](https://tdbc.or.jp/)
[**unyuu.co@wingarc.com**](mailto:unyuu.co@wingarc.com)

協議会スポンサー

